

みなさんこんばんは。先ほどうちのクラブから4名で、ハイアットリージェンシーで行なわれた2580地区のクラブ会長・国際奉仕委員長セミナーに参加して来ました。面白い話がたくさん出ていました。

誰かと思えば、振り向きざまに戸田一誠パストガバナーがおられまして、「黒岩君、木曜日は例会だけでも、今日大丈夫なの？」なんて心配をかけたようです。やはりパストガバナーともなりますと、小さなクラブの例会の曜日とか時間もよくご存知なのだなどと敬服した次第でございます。いずれ卓話なりでクラブ訪問されると思います。

しばらくぶりで尊敬する浅草RCの伊藤会長・神田RC浜田会長さんにお会いし、旧交を温めました。私はグループ討論で「ベトナムに新しいロータリーを作りたい」と軽く報告しただけなのですが、テーブルピーカーの報告する方が大きな声で「これはトピックスです。大ニュースです！」ベトナムにロータリークラブを作るそうですと、これが御苑RCの目標でもあるのだ、なんて先走りしたような感もあります。実際にはそんなことはありません。やはり冷静に、我々はやはり政府の許認可等を受けて、きっちりと一步一步階段を踏むように新しいロータリークラブを作ればいいな、と秘かに夢を見ている。

国際奉仕関係のお話を各方面からうかがったわけですが、どういうことを具体的にやっているのか、わかるような気が致しました。地区内でポリオ撲滅のために最初に手をあげたのは麴町RCだったそうです。青少年交換留学生も国際奉仕のなかから生まれたものであると。やはり国際奉仕というのは非常に幅が広いものだなと思った次第です。

なかにはこういうクラブもありました。「国際奉仕の魅力を通じて増強したいのだが、どこに魅力があるのでしょうか？教えてください」とのクラブもあり、鈴木ガバナーより「それは皆さんの瞳を見ればわかるでしょう」などという回答がありました。

私は、御苑RCは外国籍の方が多いクラブですので、他のクラブもそのようにやっていけば、それが自然に国際奉仕における増強につながるのではないかと思った次第です。

それから同じテーブルで増強について、足立RCの女性会長さんが、「どうしたらクラブ会員が増えるのでしょうか？」私は次のように答えました。それは「ポリオプラス」と同じで「女性のいないクラブを撲滅する」そうすれば必ず地区で100名くらいは増えるのだと。そうすれば必ず増強につながりますとアイデアを申し上げたところ、なるほど、言われてみればその通りとおっしゃっておりました。

国際奉仕というのが今日のミーティングの課題でしたが、ほとんどクラブ奉仕、親睦の話等もあり、ほとんど五大奉仕を網羅するようなお話が出ていたような気がします。「国際奉仕といえば勉強になる、幅の広い活動なのだ」とあらためて思った次第です。

それから、あるクラブは30年前に姉妹クラブを作った。そのクラブは台湾で、当時は日本語で例会を運営していたのですが、30年経過して新陳代謝が進行し、日本語が通じなくなって、例会公用語が英語になってしまったそうです。それで「日本のクラブとして

対応が出来ない」ということで、どうしようかと迷っているという報告もありました。

友好クラブ・姉妹クラブを作っていく際には、10年後、20年後のことを考えながら幾久しくつきあえるクラブと締結、ないしは調印をはかっていくべきだと思いました。問題点もありますが、もちろん利点も多い。海外の知識も得られますし、友人もできます。友人ができれば友情の花も咲くわけです。ビジネス的にも非常に有効になってくるかと思います。利点はかなりあるのですが、欠点も踏み越えて我々は友好クラブ、国際奉仕に今日の国際奉仕セミナーお話を参考にして頑張っていきたいと思っております。

ちなみに今日の出席者は豊田副会長、宮代エレクト、中村委員長の4人で行いました。みんな例会の準備で帰りましたもので、私一人戸田一誠大先輩から「黒岩君、ちょっとここに来たまえ」なんて言われて4人分のビールを飲んできました。戸田パストガバナ一は、「実は真面目で良い人」だと思った次第です。何事も勉強は大事です。

以上、挨拶に代えさせていただきます。